

●Point 2 医王石【16種類のミネラル+α】

- ①石川県でしか採れないミネラル鉱石で、1200年前から薬石として認められており、奈良時代に桓武天皇が病に伏せられた時に、この石を入れたお水で完治したことから、石の医者の王様と呼ばれるように。
- ②江戸時代に加賀藩では、水を浄化してくれる「前田家秘蔵の薬石」として、珍重されていました。
- ③人間が必要とするミネラル16元素をはじめ、様々な貴重な微量元素が含有されている「医王石」を使用しています。
- ④身体に吸収されやすい海洋ミネラルが豊富に含まれており、ミネラルが非常に水に溶け出しやすい性質を持ちます。また、水に溶け出したミネラルは、電気分解をより円滑にする特徴も兼ね備えています。

【必須16種類のミネラル元素量と水道水との量の比較（水1リットル当たり）】

必須元素	医王石 (ppm)	水道水 (ppm)	それぞれのミネラルの働き
カルシウム (Ca)	8.6	24	筋肉の収縮、白血球の活動を正常化、神経の興奮抑制、酵素の活性化
マグネシウム (Mg)	6.5	4.2	カルシウムと共に骨や歯の成分に、酵素の動きを促進、筋肉や神経の働きの調整
亜鉛 (Zn)	83	NA	皮膚や骨格の発育・代謝、脳機能の活性化 傷を治したり、ガンや老化予防に
ナトリウム (Na)	4.3	7.7	神経刺激の伝達に関わる、体液の浸透圧の維持
カリウム (K)	9.8	<0.01	酸と塩基のバランスをとり、細胞壁の内外の浸透圧を調整
マンガン (Mn)	810	<0.05	骨の発育に重要なミネラル。運動機能、皮膚代謝などの多くの酵素反応に関与
リン (P)	760	<0.01	エネルギー代謝や脂質代謝、カルシウムとともに骨格を形成
鉄 (Fe)	15	<0.01	血液の色素を構成
銅 (Cu)	14	<0.05	鉄の吸収、貯蔵を助ける、骨髄でヘモグロビンを産生に貢献
セレン (Se)	<10	<0.01	酸化によるがん予防、脳血栓・心筋梗塞などの血栓予防
モリブデン (Mo)	30	<0.01	肝臓や腎臓、皮膚などに存在し、たんぱく質や鉄の代謝に関与
ニッケル (Ni)	130	<0.01	鉄の吸収を増やしたり、貧血を予防したり、弱い骨（骨粗しょう症）を修復する
クロム (Cr)	180	<0.01	すべての細胞に含まれ、炭水化物や脂質の代謝を助ける
リチウム (Li)	8.3	<0.01	ナトリウム代謝に関与、神経組織の調整など
コバルト (Co)	11	<0.01	ビタミンB12の構成成分、悪性貧血を予防、神経の機能を正常に果
バナジウム (V)	66	<0.01	インシュリンと同様の作用があり血糖値を抑制する効果

【他の確認されている元素の主な薬効成分】

- ケイ素（シリカ）
 - 骨密度を向上させ骨を丈夫にする作用
- ゲルマニウム
 - 細胞の免疫力を向上させる効果
- 金（ゴールド）
 - リュウマチ関節炎に有効
- 白金（プラチナ）
 - 細菌増殖を抑制する効果と強抗酸化力

医王石



石川県の医王山



⑤ マイナスイオンやその他の微量物質の恩恵

「医王石」のマイナスイオン放出量は**トルマリンの約2倍**であり、また、微量ラドンなど、人体に有効な必須無機栄養素を含んでいます。その他、農業においては、腐葉土よりもさらに効果の高い「医王石」を使用して、野菜や果物の腐敗までの時間を大幅に延ばし、また、その収穫量を5割増産した実験もあります。現在は、その特性を活かし、様々な分野での応用が進められています

トルマリン

